

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・11月は佐賀においてバルーンフェスタ、商店街においてもイベントが沢山企画されているので、県外客も増え、売上も若干増える。
		商店街（代表者）	・年末商戦が近づき、石油が不足し始めたということで、先に商品を買っておこうという傾向にある。
		百貨店（売場主任）	・気温が例年並みに落ち着いてくれば、今年の婦人服は幾つかの大きなトレンドがみられるので、11月以降は回復してくる。顧客の消費に対する意欲は衰えていない。
		百貨店（営業担当）	・ウォームビズという新しいマーケットが出てきており、秋物衣料は悪かったが冬物衣料は堅調に推移する。
		百貨店（販売促進担当）	・個人消費は、気温の低下とともにウォームビズ関連が堅調で、年末は更に伸びる可能性がある。法人関連受注にも回復の兆しがみられ、歳末のギフトマーケットに前年以上の期待ができる。
		百貨店（売場担当）	・ウォームビズで紳士用品、雑貨を中心に売上が期待できる。
		スーパー（店長）	・ハンドバック、高級ブランドの時計、陶器や衣料品等の平均単価が上がっている。
		スーパー（総務担当）	・食品については売上が前年並みに回復しつつあり、幾分期待できる。
		スーパー（企画担当）	・製造業の景気が好調であることから、鍋物商材や年末時期の「晴れの日商材」を中心に動きが良くなる。
		衣料品専門店（総務担当）	・商品が秋物になり中高級品の売上が伸びている。今後、品揃えも中高級品へシフトしていく。
		家電量販店（経営者）	・地上波デジタル放送開始に向けて、関連商品の需要が増えている。
		家電量販店（店員）	・地上波デジタル放送に向けて、買控えていた客の購買が予想される。年末、年初から夏場にかけてデジタル家電の動きが活発化してくる。
		家電量販店（店員）	・パソコンに関しては、新製品の供給がやっと潤沢になってきており、安定して売れるようになっている。またエアコン、暖房機、薄型テレビ等が最需要期になってくる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車受注台数が増えてきている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・新設店舗等の投資物件が軌道に乗ってきたため、販売数量の大幅な増加が見込める。
		一般レストラン（スタッフ）	・周りに店舗が増えているため、好影響が出る。
		観光型ホテル（経営者）	・現在の予約状況をみると、12月から多少上向く。
		テーマパーク（職員）	・11月上旬から中旬にプロ野球球団の秋季キャンプ、11月中旬にゴルフトーナメントなどを全面にPRし誘客施策としている。また、年末年始イベントやクリスマスなども同時進行で仕掛けており、話題にこと欠かない。
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況が来年の1月までよい。その中でも海外、韓国からの客が特に南九州では多い。
		設計事務所（所長）	・今の手持ちの業務に加えて、企画等から相談を受けている仕事が増えれば、やや良くなる。
変わらない		百貨店（営業担当）	・地域ぐるみの顧客動員を図るが、来店客の慎重な購買傾向は変わらない。しかし宝飾や大型テレビキャンペーンは好調で、今後への期待が持てる。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価が下がりつつある。
		衣料品専門店（店員）	・衣料は気候に影響を受けやすいが、最近はずっと寒くても防寒衣料が売れなくなっている。
		乗用車販売店（管理担当）	・石油の高騰、ガソリンの値上げというのが足かせになっており、コンパクトカーは売れるが、大型車は売れない。中古車でも安い車はよく売れるが、高額車は売れない。
		観光名所（職員）	・ゴルフ場はこれからがシーズンであるが、値段も安いところに落ち着いている。またコンペもたまに10組、20組入るが、たいていは3、4組程度のコンペが多く、例年通りである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（支配人）	・冬季に入り客足が鈍くなってくる。
		競馬場（職員）	・来客数、売上ともに、やや下げ止まり感はあるものの、依然減少傾向にある。
		住宅販売会社（従業員）	・建売物件の動きが鈍い。年内入居でローン減税をうけようと販促しているが、土地の動きも悪く、処分できるか不透明である。
		住宅販売会社（従業員）	・土地の売買が盛んなのは福岡市天神地区の中心部のみで、周辺部についてはやや値下がり傾向のまま、土地も動いていない。あまり景気は変わっていない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・絶好の行楽シーズンにもかかわらず、良くなるという状況がみえない。行楽シーズンが終わると、人の動きはさらに悪くなる。
		スーパー（店長）	・衣料品の在庫過多でバーゲンをする他ない状況である。秋物冬物衣料も現状は仕入れがないような状況で推移しており、大変苦労している。食料品に関しても、青果を中心に相場の変動があるため厳しい状況である。競合の大型店ができており、日曜を中心に売上の厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・11月下旬に、競合の大型店ができるので苦戦する。
		スーパー（店長）	・原油の価格高騰からガソリン、石油製品の価格上昇により、生活品の圧迫等が考えられる。
		衣料品専門店（店長）	・年々冬物衣料の動きが鈍くなっている。
		住関連専門店（経営者）	・年末にかけて大物家具の動きは鈍くなり、客のニーズの個性化への対応が難しくなっている。
		高級レストラン（経営者）	・この時期になると、例年忘年会の予約や問い合わせがあるが、今年は異常に少ない。
		一般レストラン（スタッフ）	・客単価が下落傾向にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・個人催事である婚礼市場で新規参入等あり、既存市場の取り合いになり厳しくなる。
		旅行代理店（業務担当）	・博覧会需要が終わり、取扱額が前年比減と落ちている。
	悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・ゴミ袋の有料化による出費や増税の心配等により、消費は抑制される。
百貨店（営業担当）		・大型商業施設の影響が中心市街地にてできている。空き店舗が増えており、ますます中心市街地の衰退は進行している。	
企業動向関連	良くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・今までの仕事に加えて、新しい仕事、今までなかったような仕事の引合が出てきた。
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・進んでいる話が具体化し、受注量が拡大していけば良くなる。
		建設業（従業員）	・見積り件数が多くなってきている。
		建設業（総務担当）	・新築案件は減少してきたが、リフォーム、リニューアルは増えていく。特にマンション等の建築年数の経過している物件の外装の補修工事、耐震工事が増えていく。
		金融業（得意先担当）	・台風関連による災害復旧工事が徐々に増えている。さらにその勢いは強まるものと、業界では見込んでいる。
		不動産業（従業員）	・商業施設のテナントの売上が順調に推移している。
		新聞社（広告）	・北九州空港開港などを控え、全国向けへ発信するソースがある。
	変わらない	農林水産業（経営者）	・11月は加工メーカー向けの選別が一番忙しい時期であるが、今年の場合は原料不足でどうにもならない状況である。居酒屋関連への業務用商品、スーパー関連への小売向け商品はある程度期待できる。
		農林水産業（従業者）	・今年は暖冬で、高温多湿が予想されているため、作物の生育不良が懸念される。市場において、国内産の価格上昇からの輸入物へのシフトが起これば、重油の高騰もあわせて生産地の業況悪化は免れない。
		食料品製造業（経営者）	・昨年度と比較して、納入先の客単価はほぼ一定しているが、客数が減少しているため、売上増加は見込めない。
		繊維工業（営業担当）	・暖冬の感があり、コートやマフラー等厚めの物の受注販売が伸びない。
		鉄鋼業（経営者）	・新規物件が動き出すまでに多少の時間を要するものと思われ、メーカーとの間で価格の探り合いが続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の仕事は好調であるが、短納期、低コストで、どれだけ受注できるかわからない。金型は1～2か月の勝負であるため、厳しい状況に変わりはない。
		輸送業（総務担当）	・荷動きの悪い状態が続いており、しばらくはこのまま推移する。
	やや悪くなる	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・海外での生産が増加したため受注が減少した。
	輸送業（従業員）	・軽油代の高騰が続き、経営に深刻な影響を与えている。	
	通信業（職員）	・先月は大型案件の受注があったが、今後はその見込みもなく、人員も減少傾向にある。	
雇用 関連	悪くなる		
	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・各業界、即戦力のある人材を確保しようと採用の間口を広めている。
		民間職業紹介機関（支店長）	・福岡都市圏で営業販売、熊本県で半導体・エレクトロニクス、北九州市・大分県で自動車関連等の人材を求めるなど、地域ごとの特色が顕在化している。全般的な求人需要も前年以上に高くなる。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・正社員の求人数が増え、派遣と正社員と選べる時期にはきている。2007年問題についても最近の人事担当者は真剣に先手をうち人材確保に動き出しており、断続的に人材紹介と紹介予定派遣は増える。
		職業安定所（職員）	・非正規社員にかかる求人ニーズが全体を押し上げていることに変わらないが、新卒採用や正社員の中途採用に積極的な動きも伺える。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人そのものが増えており、求人マーケット自体は年末商戦で製造業、運輸、倉庫、販売で活発になる。
		職業安定所（職員）	・新規求職者が依然として大幅な増加を示している。また新規求人では非正規雇用型求人の占める割合が高まっている。
		職業安定所（職員）	・すぐに良くなる感じではないが、自動車関連企業が今年から操業しており、増産計画の発表もされているため、大分職安管内の企業や労働者にとっても明るい材料になる。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-